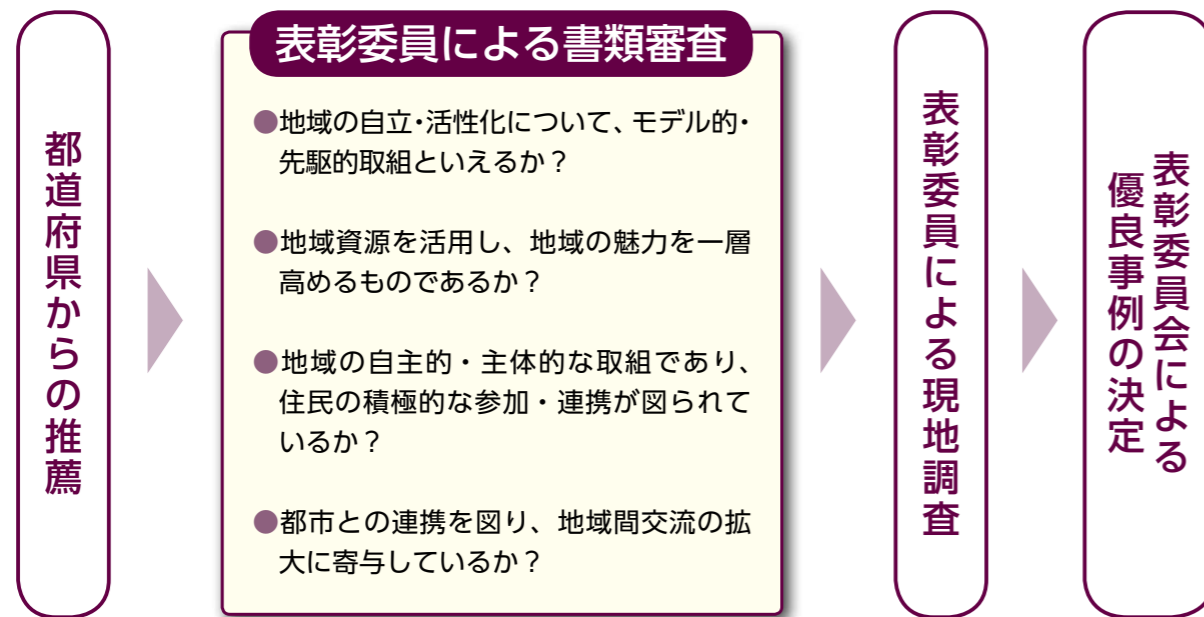


過疎地域自立活性化 優良事例表彰制度の概要

今日、多くの過疎地域では、全国に比して著しく人口減少や高齢化が進行しており、地域活力の低下や生活環境の整備に格差が見られるなど、依然厳しい状況にあります。しかし、近年、田園回帰の動きを始め、地域間交流の拡大、情報通信の発達、価値観の多様化等、過疎地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした中で、過疎地域は豊かな自然環境に恵まれた生活空間を提供するとともに、地域産業と地域文化の振興等を図り、個性豊かで自立的な地域社会を構築することにより、美しく風格ある国土の形成に寄与することが期待されています。

このことから、本制度は、過疎地域の自立促進に資するため、地域の自立と風格の醸成を目指し、創意工夫により過疎地域の活性化が図られている優良事例について表彰を行うものです。



表彰式

日時：平成30年10月25日（木）13時20分
 場所：山口県総合保健会館多目的ホール
 （全国過疎問題シンポジウム全体会場）
 山口県山口市吉敷下東三丁目1番1号

平成30年度表彰委員会委員（敬称略）



委員長 **宮口 侗迪**
早稲田大学
名誉教授



委員 **関司 直也**
法政大学現代福祉学部
福祉コミュニティ学科教授



委員 **谷 隆徳**
(株)日本経済新聞社
論説委員兼編集委員



委員 **西山 未真**
宇都宮大学農学部
農業経済学科准教授



委員 **平尾 由希**
フードコーディネーター
元NHKキャスター

委員長講評

宮口 侗迪

この優良事例表彰も今年度で29回目となりました。私自身、このところかなりの過去の表彰団体を訪問させていただいていますが、多くの団体からこの表彰が励みになって次の展開ができたといひ、嬉しく存じています。今年度は総務大臣賞4団体、過疎連盟会長賞5団体を選定させていただきました。

まず総務大臣賞です。北海道上士幌町のNPO法人上士幌コンシェルジュは、移住相談のワンストップ窓口として情報館を活用し、交流会やイベントの開催、移住者の生活体験冊子の発行を通じて多数の移住者の受け入れに成功し、自主事業などで持続的な体制を構築されています。静岡県島田市の企業組合くればは、山間であって長年の地区の活動の延長上に交流センターの指定管理者として宿泊等実績を上げ、2年おきの国際陶芸祭の開催と外国人の移住、女性加工グループの立ち上げという素晴らしい展開をされました。広島県三次市の青河地区は、市の公民館再編の動きの中でいち早く自治振興会を発足させ、独自の暮らしサポート事業を立ち上げたほか、地域の小学校の価値を守るために、空き家を改修して子供のいる移住希望者に賃貸する会社を有志が設立、多くの家族の移住を実現されました。山口県周防大島町は平成20年に「観光交流人口100万人」を掲げ、民間で受け入れる体験型修学旅行、ハワイ移民の実績に関わるフラダンスの全国イベント、移住者への起業支援、サテライトオフィスなど、町としての取組みが大きく評価されました。

続いて連盟会長賞です。岡山県真庭市の中和地域づくり委員会は、Uターン者を中心に薪プロジェクトで宿泊施設の薪ボイラー化を実現、市との連携で生まれた「真庭なり

わい塾」で都市住民に農山村の価値を実感させ、地域を挙げて小学校をサポートされています。岡山県美作市の梶並地区活性化協議会は、行政との連携のもと空き家活用に精力的に取り組み、移住やお試し居住を実現するとともに、他出者の空き家管理サービスでさらなる展開が図られていることが評価されました。また山口県長門市のNPO法人ゆうゆうグリーン倶楽部は、学生のインターン事業に長年取り組み、地元の公的施設の指定管理、交通空白地の有償運送に貢献する中で、近年では地域おこし協力隊の地域貢献とその後の起業・定住をサポートし、大きな成果が上がっています。徳島県三次市山城町の山城・大歩危妖怪村は、山村の暮らしに残る多数の妖怪話を見る化したユニークな取組みで、児啼爺はじめ100を超える手づくりの妖怪の里歩きコース、「怪フォーラム」の開催、道の駅の妖怪屋敷化などに頑張っておられます。最後に愛媛県伊予市双海町のまちづくり学校双海人は、地元有志と地域おこし協力隊員主導で高校生も参加して発足、軽トラ市などの開催に加え、移住プロジェクトでは子供の多い家族の移住を実現し、山村部の小学校存続に寄与するなど、有志の会としては出色の活動と言えます。

今年度も表彰団体は、1つの自治体、2つのNPO、新旧小学校区の地域運営組織にあたるものが4団体、旧町村単位の生まれた2つの任意団体と、多彩な顔ぶれとなりました。特に小学校区という単位での地域運営組織が過疎地域の住民生活の拠り所として大きな価値を発揮することは、過疎問題懇談会からも強く提言させていただいています。ぜひ参考にいただき、地域の暮らしをより豊かにする地域にふさわしい取組みを進めていただきたいと思います。